



Good Wood Communication!

かけがいの森から



森林の地籍調査事業 来年度より居尻地区でスタート

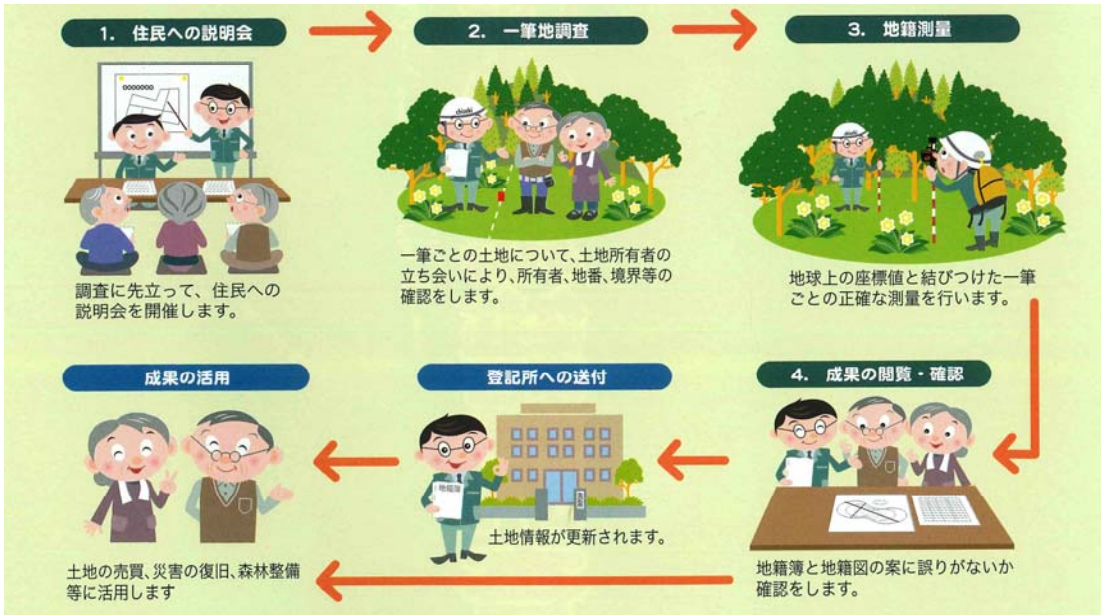
正確な土地情報を後世に伝承するために

森林の土地情報をより正確に把握・保存するため、平成25年度から居尻地区より地籍調査事業が始まります。本事業は静岡県森林組合連合会が実施主体となり、当組合・掛川市が協力する体制で行われます。

予定では、1事業区域を3年かけて1年目は立会・杭設置

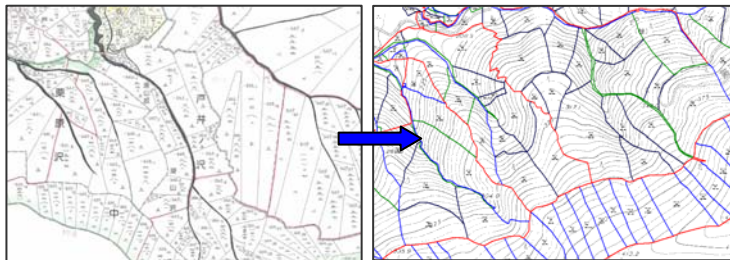
2年目に測量、3年目に閲覧登記、という行程で進んでいきます。(2年目には別地区の1年目の行程が始まります。)

1事業地の調査面積は概ね40haです。当面、原泉地区、原田地区の取り組みとなりますが、2014年までの超長期の計画となります。



地籍調査事業の流れ

上記の行程を経て、登記所の登記簿・公図は正確なものへと更新されます。



当組合では昨年度まで7年間、境界保全事業に取り組みました。この境界保全事業では調査結果が登記に反映されることはありませんでしたが、今回の地籍調査事業では、成果の確認・閲覧作業を経て、登記所(法務局)の土地情報が更新されます。調査結果が公図・登記簿として残っていくことになり、その後は安心して売買・相続・森林整備等が行えます。

登記面積が変わると、市の固定資産台帳面積も更新され、課税に影響する、と心配をされる方もあるかもしれませんが、しかしながら、同じ掛川市内の旧大東町など、既に調査が済んでいて、正確な土地台帳により課税がされているところの公平性が、掛川市北部山村部の公図が現地と大きく異なっていることなどを考慮すると、この点は止むを得ない状況のようです。

当組合としては、7年間1041ha以上取り組んできた境界保全事業の実績を活かし、県森連や市と協力しつつ、地籍調査事業が円滑に進むよう鋭意努力していく所存であります。

組合員・森林所有者の皆様方、何卒ご協力よろしくお願いいたします。

県内で行われている 森林の地籍調査事業

静岡県内では、森林組合連合会が実施主体となって地籍調査を行っている地区が10箇所あります。掛川市近隣では、森町、島田市、川根本町、浜松市天竜・春野で事業が行われています。当掛川地区もこれらの地区の仲間入りをします。

10箇所で開催中



地籍調査事業の実施主体となる“静岡県森林組合連合会”さんと調査にご協力いただき“掛川市”さんにメッセージをいただきました。

●静岡県森林組合連合会 指導課
係長 長岡正人 氏



組合員ならびに森林所有者の皆様、はじめまして。今後一緒に山を歩いたり、境界を教えてくださいながら、皆様の土地の権利を守るために、鋭意専心事業に取り組みます。ご理解ご協力、よろしくお願い申し上げます。

●掛川市 管財課 地籍調査係
係長 小林尚 氏



森林組合が実施する地籍調査事業に、掛川市としても全面的に協力します。少しでも早い全市域完了を目指しています。皆様のご協力をお願いします。

第51回 通常総会終了 ~すべての議案を原案どおり可決~

8月30日、掛川市森林組合第51回通常総会が、掛川市生涯学習センターにて開催され、提出議案の全てが承認されました。まずまずの決算報告ができたことにつきまして、組合員をはじめ、関係機関の皆様にご礼申し上げます。また今期も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。今回は組合員の出席数が例年より少なめでした。来年は皆様お誘いあわせの上、より多くのご出席を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(会場の様子 / 組合長のあいさつ / 祝辞を述べてくださる伊村副市長 / 議案を説明する大嶽専務)

森林組合からのお知らせ

●育樹祭の日程を訂正します。

広報誌夏号「育樹際」記事の日程に誤りがありました。訂正いたします。正しくは下記のとおりです。



- お手入れ行事 伊豆湯ヶ島 11月10日(土)
- 式典行事 エコパ 11月11日(日)
- 林業機械展 エコパ 11月11~12日

●今年度の事業予定をお知らせします。

- ・**境界保全事業** 本年度の実施はありません。
- ・**治山事業** 平島地区にて37haの間伐実施予定。上垂木地区にて調査・測量業務100haを予定。
- ・**森の力再生事業(7年目)** 上西郷・原田・炭焼・千羽で約75ha程度実施します。
- ・**搬出間伐事業** 丹間・炭焼・初馬・居尻で36haの間伐。1100m³程度の間伐材を搬出予定です。
- ・**森林経営計画** 居尻地区100ha規模で計画を樹立予定。秋に対象地権者向け説明会を実施します。

●榛村組合長の本「報徳ライフのすすめ」



組合長の最新の本が発刊されました。「報徳訓を今様に解説すると」「報徳の核心は『分度』にある」など、報徳や尊徳をより深く考えるためのヒントをいただけます。

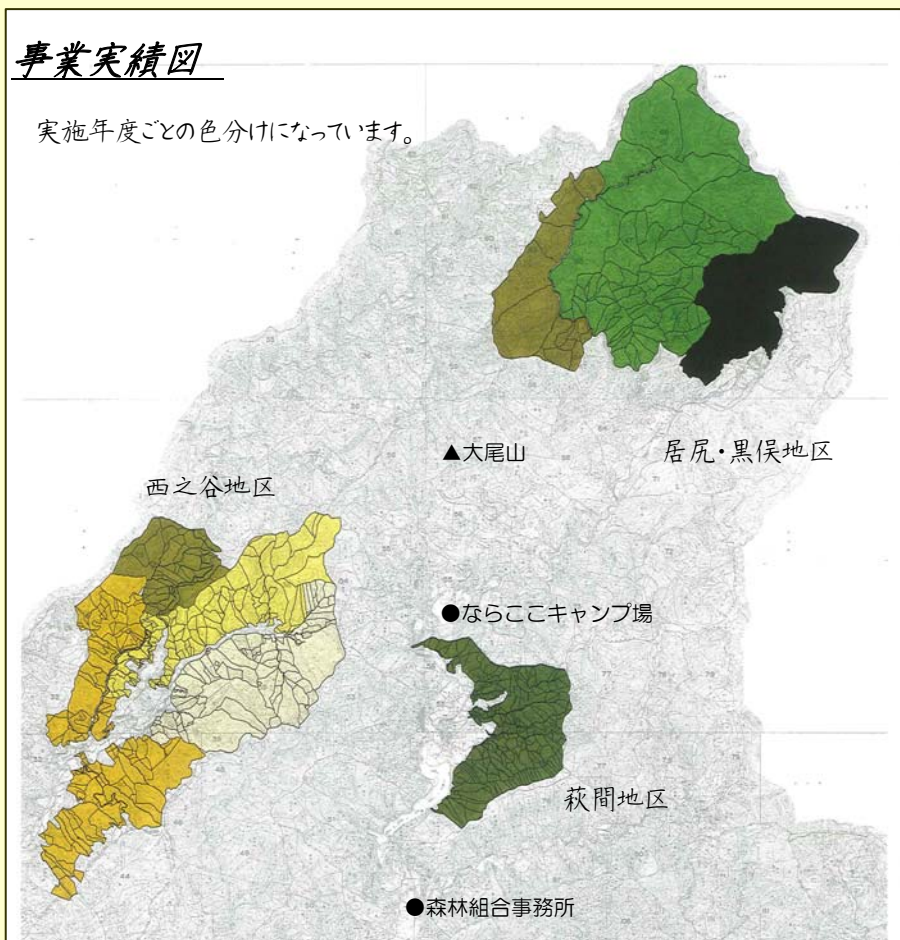
就業半年経って… 新人の山田さん

森林組合勤務1年目、寺島の山田紘也です。就職してあっという間に半年が経ちました。仕事は初めてのことだらけで、辛い事も少なくない毎日でしたが、なんとか夏を越えることができ、少しずつ現場に慣れてきたかと思えます。ここで気持ちを緩めることなく、怪我のないように体に気をつけてこれからも日々成長していきたいです。



事業実績図

実施年度ごとの色分けになっています。



平成17年度	居尻・黒俣地区	312 ha	71 筆
平成18年度	萩間地区	108 ha	265 筆
平成19年度	黒俣地区	110 ha	73 筆
平成20年度	上西之谷地区	131 ha	126 筆
平成21年度	〃	109 ha	202 筆
平成22年度	〃 中西之谷地区	151 ha	310 筆
平成23年度	上西之谷・居尻地区	120 ha	187 筆
合計		1,041 ha	1234 筆

当組合では平成17年度より7年間、森林の境界保全事業に取り組んでまいりました。皆様のご協力のおかげをもちまして、居尻・黒俣地区、萩間地区、西之谷地区、合わせて面積1041ヘクタールの調査を行うことができました。ありがとうございました。

7年間の境界保全事業が終了 7年の実績を報告

“これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!



これからの季節、チェーンソー作業の必需品 **チェーンオイル**

水溶性なので、汚れが落ちやすい! 家庭用洗剤で簡単キレイに落とすことができます。



季節を選ばない オールシーズン用。

(水溶性)

(従来型)

18リットル ¥6,678 4リットル ¥1,850

TPPと森林・林業

農協さんの広報誌ではTPPと日本の農業問題が大きく取り上げられていましたが、TPPと森林・林業の関係はどのようなのでしょうか。今回は、静岡県林業会議所の広報誌、「F&F」にあった関連記事を紹介します。



本記事によると、「丸太と米マツミツカ等の製材品は100年代から既に関税ゼロであるが、マツ・モミ等の製材品や、熱帯木材の合板などには現在も5~10%の関税がかかっている、それが撤廃される可能性が高い。また、ワシントン大学付属の研究センターが、日本の森林・林業再生プランを基にした自給率向上策を、非関税障壁として研究している。」以上の点からTPPは日本の森林・林業に大きな影響を与えかねず、動向の注視が必要ということでありました。

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと お彼岸を過ぎて、朝晩はだいぶ涼しくなりましたね。そういえば今年はヒガンバナの開花が、少し遅かったですね。夏の暑さが原因だったとか。森林組合の駐車場では、同じヒガンバナ科のキツネノカミソリが、お彼岸少し前に鮮やかな黄色の花を咲かせました。

